



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社  
コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 清久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 池上 圭一

TEL 06-7166-8248

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,899	8.5	3,570	0.3	3,609	2.6	2,422	2.6
29年3月期第3四半期	19,268	16.3	3,582	48.4	3,706	48.5	2,361	37.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,069百万円 (22.7%) 29年3月期第3四半期 2,502百万円 (76.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	99.07	
29年3月期第3四半期	96.58	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	49,647	38,878	78.3
29年3月期	49,347	36,740	74.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 38,878百万円 29年3月期 36,740百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		14.00		20.00	34.00
30年3月期		17.00			
30年3月期(予想)				19.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当17円00銭 特別配当 2円00銭  
なお、詳細は、平成30年2月7日公表の「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,300	3.9	4,700	9.0	4,700	10.6	3,100	3.2	126.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 日本ピラーメキシコ株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	25,042,406 株	29年3月期	25,042,406 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	594,813 株	29年3月期	594,557 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	24,447,684 株	29年3月期3Q	24,448,099 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益が改善傾向にあるなか、合理化・省力化投資を中心に設備投資は持ち直しの動きが持続しております。一方、雇用情勢は引き続き改善状況にありますが、賃金が伸び悩んでおり、個人消費の回復の動きには依然として緩慢なものがあります。これら強弱はあるものの全体としては、景気の緩やかな回復基調が続いております。また、世界経済は、欧米での景気は底堅く推移しておりますが、中国経済は緩やかな減速傾向がみられ、今後、米国の政策運営や英国のEU離脱を巡る不確実性、地政学的リスクなどの不透明な海外情勢もあり、景気の先行きには予断を許さないものがあります。

このような環境の中、産業機器分野向けシール製品は、石油プラント向けや電力向け製品が低調であったことから、売上高は前年同期を下回りました。また、電子機器関連事業の半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は半導体製造装置市場が引き続き活況であり、売上高は前年同期比増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高208億99百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益35億70百万円（前年同期比0.3%減）、経常利益36億9百万円（前年同期比2.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億22百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、産業機器関連事業は75億15百万円（前年同期比1.5%減）、電子機器関連事業は133億19百万円（前年同期比15.2%増）、その他部門（不動産賃貸等）は63百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、産業機器関連事業は10億30百万円（前年同期比22.0%減）、電子機器関連事業は25億87百万円（前年同期比14.5%増）、その他部門（不動産賃貸等）は23百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金は減少しましたが、たな卸資産及び有形固定資産の増加等により前期末比3億円増の496億47百万円となりました。また、有利子負債（リース債務は除く）は、前期末比4億3百万円減の17億44百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益等により前期末比21億38百万円増の388億78百万円となり、自己資本比率は78.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、現時点において平成29年11月2日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,060	12,249
受取手形及び売掛金	8,175	7,370
電子記録債権	3,968	3,808
有価証券	112	113
商品及び製品	541	894
仕掛品	1,122	1,586
原材料及び貯蔵品	572	757
その他	1,285	744
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	29,832	27,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,502	9,876
機械装置及び運搬具(純額)	1,373	1,342
土地	4,819	5,126
その他(純額)	798	1,241
有形固定資産合計	15,493	17,587
無形固定資産	107	87
投資その他の資産		
投資有価証券	3,587	4,130
その他	345	343
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	3,913	4,454
固定資産合計	19,514	22,129
資産合計	49,347	49,647
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,948	3,162
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	537	539
未払法人税等	1,052	248
賞与引当金	728	381
資産除去債務	258	233
その他	2,467	2,626
流動負債合計	9,193	7,390
固定負債		
長期借入金	1,410	1,005
退職給付に係る負債	1,515	1,594
資産除去債務	58	141
その他	429	637
固定負債合計	3,413	3,379
負債合計	12,607	10,769

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,190	5,190
利益剰余金	25,475	26,966
自己株式	△465	△465
株主資本合計	35,166	36,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,369	1,943
為替換算調整勘定	271	317
退職給付に係る調整累計額	△68	△41
その他の包括利益累計額合計	1,573	2,220
純資産合計	36,740	38,878
負債純資産合計	49,347	49,647

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,268	20,899
売上原価	12,213	13,272
売上総利益	7,055	7,626
販売費及び一般管理費	3,472	4,055
営業利益	3,582	3,570
営業外収益		
受取配当金	60	66
為替差益	52	—
その他	31	26
営業外収益合計	145	93
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	—	1
固定資産処分損	9	44
その他	5	3
営業外費用合計	20	54
経常利益	3,706	3,609
特別利益		
投資有価証券売却益	30	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
減損損失	21	22
工場建替関連費用	—	108
災害による損失	334	—
特別損失合計	355	130
税金等調整前四半期純利益	3,382	3,478
法人税、住民税及び事業税	929	975
法人税等調整額	91	80
法人税等合計	1,020	1,056
四半期純利益	2,361	2,422
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,361	2,422

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,361	2,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	401	574
為替換算調整勘定	△286	45
退職給付に係る調整額	26	27
その他の包括利益合計	140	647
四半期包括利益	2,502	3,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,502	3,069



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

日本ピラーメキシコ(株)は、段階的に増資をした結果、当社の特定子会社に該当することとなりました。

第1四半期連結会計期間より、当該子会社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,632	11,565	19,198	70	19,268	—	19,268
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,037	2,236	4,274	12	4,286	△4,286	—
計	9,669	13,802	23,472	82	23,555	△4,286	19,268
セグメント利益	1,320	2,258	3,579	27	3,607	△24	3,582

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△24百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び棚卸資産の調整額△28百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,515	13,319	20,835	63	20,899	—	20,899
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,985	2,458	4,443	12	4,455	△4,455	—
計	9,501	15,778	25,279	75	25,355	△4,455	20,899
セグメント利益	1,030	2,587	3,617	23	3,641	△71	3,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△71百万円は、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額△72百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。